



議会だより

なよろ

平成 28 年
6 月定例会

第 41 号

平成 28 年 7 月 1 日
発行



目次

定例会できたこと	2
議決結果	3
一般質問に 14 人	4 ~ 10
議会報告会のご案内・議会日誌	11
政務活動報告	12 ~ 13
議員協議会	13
議会報特別委員会視察研修	14
各委員会活動報告	15
きぼう・議会スナップ・編集後記	16

題字 智恵文小学校 越 史也(こしふみや)さん

平成28年 第2回定例会 6月3日～6月17日

「名寄市中小企業振興条例」の一部改正及び「名寄市駅前自転車駐留場管理条例」を原案可決

平成28年第2回定例会は、6月3日から6月17日までの15日間開かれました。会議初日は、平成28年第1回定例会で経済建設常任委員会に付託されていた「名寄市中小企業振興条例」の一部改正についてを委員長報告のとおり原案可決しました。また、議案審議では、条例案3件、補正予算5件、その他6件、報告5件、諮問1件、意見書案8件を審議しました。

6月15日、16日、17日の一般質問では14人の議員が市政の課題について質問しました。

条例の制定及び一部改正等

名寄市中小企業振興条例の一部改正

本条例の一部改正は、市内経済や中小企業を取り巻く環境が大きく変化し、創業、事業承継の支援など中小企業が抱える新たな課題に対応するとともに、中小企業の振興施策を推進し、地域経済の活性化を図るものです。

名寄市駅前自転車駐留場管理条例の制定

駅前自転車駐留場の適正な管理を行うため、「自転車の安全利用の促進及び自転車等

の駐車対策の総合的推進に関する法律」に基づき、利用期間経過後も駐車している自転車等の撤去等を可能とするための規定を整備しました。

名寄市手数料徴収条例の一部改正

長期使用構造等とするための措置及び維持保全の方法の基準の改正に伴い既存住宅の増改築についても長期優良住宅として認定が可能となったことから、既存住宅にかかる認定申請手数料等を追加するものです。

主な補正予算

障害者福祉一般行政経費
視覚障がいなどの方々に対するインターネット情報サービス「サピエ」の導入に要する経費として27万7千円を追加。

ピヤシリスキー場整備事業費

利用者の安全性の確保のため、第1リフト支柱ブラケットブッシュ交換工事、ジャイアントコース照明LED改修工事を実施しゲレンデ環境の向上を図るため、整備事業費に1,012万1千円を追加



安全面の充実を図り、利用者拡大を目指す

名寄市立大学保健福祉学部再編事業費
名寄市立大学の保健福祉学

部の再編事業に伴う名寄大学新棟建設にかかる工事監理業務及び建設工事費など2億5,469万円を追加。

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦に同意。

佐藤 源 嗣氏（再任）

名寄市字徳田65番地127

村上 勝 浩氏（再任）

名寄市西3条北5丁目14番地2

臨時会（5月11日）

平成28年第1回臨時会が5月11日に開催されました。名寄市国民健康保険条例の一部改正など3件について審議され承認されました。

人事案件

名寄市教育委員の任命に同意。

松田 潤 子氏（再任）

名寄市風連町字中央553番地1

名寄市外2組合公平委員会委員の選任に同意。

益塚 敏氏（新任）

名寄市風連町仲町107番地

平成 28 年 第 1 回臨時会議決結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 1 号	専決処分した事件の承認について（名寄市国民健康保険税条例の一部改正について）	原案可決
議案第 2 号	名寄市教育委員会委員の任命について	原案可決
議案第 3 号	名寄市外 2 組合公平委員会委員の選任について	原案可決

平成 28 年 第 2 回定例会議決結果

議案番号	件 名	結 果
平成28年第1回定例会付託議案第35号	名寄市中小企業振興条例の一部改正について	原案可決
議案第 1 号	名寄市駅前自転車駐車場管理条例の制定について	原案可決
議案第 2 号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第 3 号	名寄市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 4 号	字の区域の変更について	原案可決
議案第 5 号	北海道市町村職員退職手当組合格約の変更について	原案可決
議案第 6 号	専決処分した事件の承認について（平成 27 年度名寄市一般会計補正予算）	原案可決
議案第 7 号	専決処分した事件の承認について（平成 27 年度名寄市介護保険特別会計補正予算）	原案可決
議案第 8 号	専決処分した事件の承認について（平成 27 年度名寄市下水道事業特別会計補正予算）	原案可決
議案第 9 号	専決処分した事件の承認について（平成 27 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算）	原案可決
議案第10号	平成 28 年度名寄市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第11号	名寄市過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第12号	工事請負契約の締結について（風舞団地改修工事）	原案可決
議案第13号	工事請負契約の締結について〔名寄南小学校屋外運動場整備工事（旧校舍解体・屋外運動場整備）〕	原案可決
議案第14号	財産の取得について（なよろ健康の森クロスカントリーコース整備用圧雪車）	原案可決

今臨時会、定例会において賛否の分かれた議案はありませんでした。（全件、全会一致）

第 1 回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

貸切バス事業の「規制緩和」見直しと運転手の労働条件改善を求める意見書
 子どもの貧困対策の抜本的強化を求める意見書
 奨学金制度の充実等を求める意見書
 地方交付税の安定的確保を求める意見書
 介護職員の人材確保を求める意見書
 地域の中小企業への支援充実を求める意見書
 T P P 協定大筋合意に関する意見書
 ヘイトスピーチ根絶のため法規制を求める意見書
 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

第 2 回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

電力自由化のさらなる改善を求める意見書
 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置拡充を求める意見書
 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書
 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書
 地方財政の充実・強化を求める意見書
 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30 人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書
 道教委『新たな高校教育に関する指針』の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
 平成 28 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

一般質問



公園を市民憩いの場に

市民連合・凜風会 山崎 真由美 議員

望湖台自然公園の環境整備を

問 公園内の遊具や歌碑・句碑、木道等の点検整備と自然環境を守る取り組みは。

答 かつて「ふうれん出合いの森」事業として設置された59基の歌碑・句碑は、長く訪れる人の目を楽しませてきた。今後の維持管理については、文化協会と協議しながら方向性を決めていく。また、老朽化が進んだ遊具や木道については、適宜整理していくが、花の植栽や除草等の環境整備は上川北部森林組合に、キャンプ場等の運営は名寄振興公社にそれぞれ業務委託し、一定の予算をかけながら自然公園としての機能維持に努めていく。具体的には、名寄市観光振興計画で議論していく。

児童生徒へ安全安心な支援を

問 登下校時における安全対策として遠距離通学（スクールバス含む）に対する支援は。

答 学校の適正配置要件の一つとして国が規定している通学距離は小学校で4、中学校で6 となっている。また、降雪期である後期は、それぞれ2・3 と規定している。しかし、小学校1年生と6年生とは体格や経験に大きな差があることから、名寄市としては、今後、「子育て環境づくりの一環」として支援対応を考えていく。

他の質問 地方創生総合戦略を柱にした市民皆スポーツへの取り組みについて・児童生徒の安全安心を担保する放課後活動への支援について

児童生徒の安全安心を担保する放課後活動への支援について



市民憩いの場、望湖台自然公園

市立大学の充実強化を

問 開学10周年を迎え、将来を見据えた学生確保に向けて基本的な大学運営とコミュニケーションケア教育研究センターの設置主旨は。

答 学長は就任時に、今後の大学運営で、18歳人口の減少に伴う学生の確保・地域貢献・教育環境整備の三つの課題と五つの目標を示した。基本的な考え方は、「大学の将来構想策定会議」で協議をしていく。コミュニケーションケア教育研究センターは、従来の研究・事業を継続実施し、新たな取り組みについて、教職員による企画運営会議、地域の関係機関を含めた連携推進協議会で検討していく。

新設組織の目的と役割は

問 4月に新設された交流推進課やスポーツ・合宿推進課の機能と役割、営業戦略室の他部署との連携は。

答 交流推進課は交流に係

これからの10年を展望し

市政クラブ・新緑風会 東川 孝 義 議員

る情報の一元化やこれまで築き上げてきたパイプを最大限に活用し交流人口拡大を図る。スポーツ・合宿推進課は体育施設の管理運営やジュニア育成に加え、スポーツを基軸とした交流人口の拡大や市民の健康づくりなどに取り組む。合宿受け入れに向けては、旅館業組合と協議している。営業戦略室職員を教育委員会と併任発令しており、横断的な連携を図っていく。

他の質問 市内公園の維持管理について



名寄への歓迎おもてなしに作成したのぼり

一般質問



東小の大規模改修を質す

市民連合・凜風会 佐久間 誠議員

予算付けをどうするか

問 学校施設環境改善交付金の不採択に伴う対応について、名寄東小学校と風連中央小学校の建て替え計画の考え方は。また、国からの予算付けがされない中で、雨漏り等、急を要する名寄東小学校改修をどうしていくのか。

答 4月19日の国からの補助金の内示で名寄東小学校の大規模改修事業は採択見送りになった。改修については、今後何年も待つていられる状況にないので何らかの財源的な手立てを講じて改修を行わなければならないと考えている。風連中央小学校も今年度と同様な採択の考え方となると厳しいが、学校施設の耐震化は急務との考えに立てば採択の優先度は高い事業と考えられ引き続き建築に向けた諸手続きを進めていきたい。

問 中心市街地の再整備について
グラウンドデザインを市

民に分かりやすく示し、南広場を中心街への誘導の推進力となるような複合施設の設置を。

答 歴史とともに築かれてきた市街地の新たな姿にかかわることから、関係者とともに策定される個別計画において示されると考えている。

他の質問 安全保障関連法施行後の自衛隊員の安全確保に關して・平和と命を守る取り組みの充実について・平和教育の取り組みについて



改修が待たれる名寄東小学校



市民が主役のまちづくり

市政クラブ・新緑風会 大石 健 二議員

武四郎生誕200年事業は

問 名寄市ともなじみが深く天塩川を探検した松浦武四郎は、2年後の平成30年に生誕200年、北海道と命名されてから150年を迎える節目の年に当たる。新しい文化と観光の創造・記念事業について、市および道との協力や流域周辺自治体と連携した事業等への取り組みは。

答 平成30年に向けて松浦武四郎の生涯を題材としたテレビドラマ化の要請を行うほか、記念事業等についても今年度中にとりまとめる。

悩める町内会の課題に

問 市は、このほど町内会組織の意識調査の集計結果を公表した。それによると、加入率や担い手不足など、町内会が抱える深刻な悩みが、改めて浮き彫りになっている。集計結果を踏まえて、今後、地域活動コミュニティ活動のあり方、町内会活動の自主性・

自立性、組織形態の再構築を図るための実効性の高い具体的な対応は。

答 増加傾向にある未加入者問題は特に集合住宅の対応に苦慮しており、町内会連合会と連携して具体的な対応を検討するほか、地域連絡協議会においても課題解決ができる活動を推進していく。

他の質問 加藤市政2期目の中間点を迎えて・北国博物館の施設と環境整備・市有財産の処分と活用・戸籍の届出他



武四郎宿営推定地を示す説明看板(市内日進)

一般質問



市政クラブ・新緑風会 塩田昌彦議員

日進・温浴施設整備の方向性

日進地区再整備基本構想の方向性

問 基本構想が策定された背景と内容・議論経過・温浴施設等整備の検討に至った経緯・マックアースの調査結果について。

答 平成4年に「ピヤシリヘルシーゾーン構想基本計画」が策定され、施設整備が図られてきたが、日進地区を取り巻く環境が大きく変化してきたことから、日進地区全体の総合的な整備の方向性について検討が必要となった。庁内検討委員会で幅広く議論し、同地区に求められている3つの基本的役割を「市民の憩いの場」「人づくりの場」「交流人口拡大の場」とし、市民からの要望が多かった温浴施設の新設・改修を優先的に検討することとした。施設の改修等には、多額の財政負担を伴うが、第2次総合計画等の中で議論・検討し、具体的な方向付けをする。

高校野球大会の復活

問 高校野球大会の市内開催を望む声に対して。

答 高野連名古屋支部大会の名寄市での開催は、平成21年春季大会が最後となっている。高校野球の開催には、選手の安全確保の観点から、ラバーフェンスの改修など、球場施設の改修が必須条件で、多額の財源を伴うことから、市民要望を理解するもの、全体で議論を進めていきたい。

他の質問・名寄市の農業施策について

EN RAYホールの有効活用

問 ホール開館から1年が経過、利用実績と課題は。また、高齢者・障がいのある方などホールへ出向くことが難しい方への対応や文化芸術の向上を目指した取り組みについて。

答 昨年末で3万5千人を超える来場者があった。ホール稼働率は71・4%で全国平均60%を大きく上回った。ジュニアオーケストラの立ち上げを目指した市民バイオリン講座や社会福祉協議会との連携により総合福祉センターにおいてアウトリーチコンサートなどを開催した。今後市民が等しく文化芸術に触れ、心豊かな生活を送ることができるよう取り組みを継続したい。また、近隣施設との連携として北の星座音楽祭組織委員会が立ち上がった。交通手段確保のため送迎バスのあり方について検討したい。今後

心豊かな文化の振興

市民連合・凜風会 高野美枝子議員

も「文化芸術の拠点」「市民のコミュニティの醸成の場」として市民の身近な施設と感じられるよう努めていきたい。

地域に開かれた大学

問 昨年の就職状況と名寄で就職したいと思う学生をどう増やしていくか。

答 就職希望者176名中175名が就職、市内16名、道内117名、道外42名であった。ハローワークと人材定着会議を作り、マッチングの機会が増えることにより地元に残ってもらえるよう取り組んでいく。

他の質問・大学コミュニティ

教育研究センターの目指す姿・高齢者の現状と具体的な対応・高齢生活困窮者の支援等



改修が検討されている温浴施設



文化芸術の殿堂「EN-RAY ホール」

一般質問

困窮者のための相談窓口

問 生活困窮者自立支援事業1年経過の状況を伺う。

答 本市においても必須事業である自立相談支援事業と住居確保給付金の給付事業を開始した。事業開始にあたり、庁内各部署で組織する連携会議を設置し相談窓口の紹介や地域ネットワーク会議を設け、民生・児童委員への事業の説明や保健所、ハローワーク、市立大学などへの協力を依頼した。27年度の実績は新規相談77件、のべ相談件数167件であった。新規相談内容は収入やローンなどの金銭についてが半分、就労に関しては1割程度だが、病気や家族、住まいなど多種多様である。また、生活困窮層の早期発見については、町内会ネットワークの活用や庁内の各窓口において相談を受けた場合は相談事業の紹介と誘導をしている。



市政クラブ・新緑風会

佐々木

寿議員

5年後に向けて始動

2020に向けた英語教育

問 2020年度に「小学校3年生から必修化、5年生から教科化」が実施の見通しだが、どのように取り組まれているのか。

答 小学校3年生では外国語に慣れ親しむ「聞く」「話す」を中心に、5、6年生はさらに「書く」「読む」を加え4技能を総合的・系統的に扱う教科学習、中学校では身近な話題についての表現などコミュニケーション能力を養う学習活動を重視することなどの改善が図られる予定である。情報収集や資料活用に努めていく。

他の質問

・総合戦略事業について、

そろばん

学習、運動部活動

の推進

の推進



2020年度から小学校の英語教育が変わる

黒字決算を活かせ

問 財政の厳しい見通しを示し、施策を厳選して執行された27年度決算は、一般会計で6億3000万円の黒字、基金に約9億円を積み立て総額80億822万円となった。こういう時こそ、これまで協力をいただいた市民に還元する施策、市民ニーズに応える制度の見直しが必要。それでも将来の財政に不安があるのなら、庁内での財政規律確立、市民にはしっかりとした説明も必要ではないか。

答 27年度決算は、地方交付税が予算額を上回り、歳出削減などによる不用額によるもの。多様な市民ニーズへの対応は速やかに対応すべき事業は補正で施策に取り入れているが、財政規律や説明責任は早急に取り組みたい。

市民と共有する総計に

問 総合計画市民アンケート回収率は4・1%、各種対



市民連合・凜風会

佐藤

靖議員

市民ニーズと施策

話参加者合計472人など

なっており、真に市と市民が

共有する最上位計画となり得

るのか。計画確定後、名寄市

立大学生の協力を得て、わか

りやすい基本構想、基本計画

のパンフレットを作成すべき

ではないか。

答 さまざまな手法で市民

と作る総合計画を目指してい

る。わかりやすいパンフレッ

トなどは検討したい。

他の質問・新名寄市病院事業

改革プラン(案)について



名寄市総合計画(第2次)の策定が進められているが...

一般質問



子どもの学力と教育

名風会 野田 三樹也 議員

児童生徒の学習の現状と課題

問 児童生徒の学習の取り組みで特に中学生を持つ家庭では学習をしながら音楽を聴いたり、携帯電話で無料通話のライン等しながら学習に取り組んでいる姿が増えてきているが、本市が把握する児童生徒の現状と今後の課題について。

答 本市の児童生徒の状況としては、平成27年度学力・学習状況調査等の結果から、全国と比べ「家庭で学習している」という回答が低い。また、「普段、1日当たり2時間以上テレビゲームをする」という回答が高いことから、望ましい学習習慣と生活習慣の定着を図ることなどが継続的な課題となっている。

特別支援教育の取り組み

問 一人一人に行き届いた指導や支援を実施するための現状の取り組みと課題について

特別支援学級に在籍している児童生徒一人一人に適切な支援を行うため、個々の障がいの状態や特性を把握し、個別の指導計画や教育支援計画を作成し、児童生徒に対する指導や支援が学校全体で行われるよう校内の支援体制を図っている。特別支援教育コーディネーターが中心となりICT等を活用してわかりやすく説明するなどの支援の充実や複数の指導者や支援員による指導体制の充実を図っている。



正しい学習習慣を



より快適な除排雪を

市政クラブ・新緑風会 東 千春 議員

除雪・排雪について

問 市民からクレームが多い除雪後、玄関先の雪処理に民間事業者のシヨベル除雪を市として、推奨してはどうか。効率的な排雪対策として、すべての雪を取り除くのではなくて幅員の確保を重視してはどうか。また、街中に雪の堆積場の確保を。

答 民間事業者とコンタクトは取っていない。一定のルール作りも現段階では難しいが、除排雪に関する検討の場を設けて課題解決を目指したい。生活道路の排雪作業は長期間かかるが全体スケジュールからはやむを得ない。雪堆積場を確保し効率的に進めたい。

移住定住について

問 名寄への移住を検討する際に名寄市の住みよさをアピールするとともに家庭菜園など具体的に暮らすイメージができるような方策を考えて

は。名寄に必要な情報を持つ人材をインセンティブを設けて移住促進しては。

答 趣味やレジャーなどが生活の一部として取り組めるイメージ作りを進めたい。実際に移住した方の体験を聞く機会など工夫したい。本市としても様々な人材確保は必要と認識し、施策を考える必要がある。目的や地域貢献したい気持ちのマッチングや起業支援を図りたい。

他の質問 街並み景観について



暮らしがイメージできる方策を(お試し移住住宅)

ICT：コンピュータやインターネットなどのデジタル技術全般。
インセンティブ：特定の行動を促す動機づけ、誘因、優遇措置。

一般質問



生活困窮者への支援を

公明 高橋 伸 典 議員

公的手当の隔月支給を

問 児童手当と児童扶養手当の支給頻度を上げることは、低所得者の生活破綻を防ぐのに有効な方策だが、公的手当の隔月支給の可能性は。

答 児童手当法第8条第4項及び児童扶養手当法第7条第3項に想定されている支給方法に基づき支給されているため、法改正が必要。全国的に受給者からの要望に児童扶養手当の支給回数の見直しについて厚生労働委員会で、支給回数について「所要の改善措置を検討する」と付帯決議がされている。本市も国の動向に注視して法改正に伴う改正の際に措置をする。

食品ロスの削減を

問 日本で年間排出される2,801万トンの食品廃棄物のうち、642万トンが食べられる状態で捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」となる。本市の学校給食・家庭・

飲食店の食品ロス削減に向けた取り組みについては。

答 学校給食は仕入れ時点で食品ロスは最小限に抑えており、給食の残食は毎年11月に調査し、平均10%程度で推移し児童生徒に対して食育・環境教育の意識を高める啓発をしている。家庭・飲食店の食品ロス削減は、まだ意識が浸透しておらず、現状を把握して、どう推進していくか研究をしていきたい。

他の質問・若者をはじめとする有権者の投票率向上



食品ロス削減の推進を

農業振興施策について



子供達の未来のために

市政クラブ・新緑風会 山田 典 幸 議員

問 次期農業・農村振興計画の策定にあたっての基本的な考えと今後のスケジュールは。

答 総合計画の実施計画として位置付け、本市における農業・農村の現状や役割を踏まえ、将来に向けて持続的に発展していけるよう施策を計画的に進めるためのものと考えている。計画期間については総合計画との整合性を図るため10力年とする。昨年度に検討委員会を設置し、生産者関係機関・団体との懇談会の実施やアンケート調査を行い現状の課題や要望等について取りまとめてきた。今後は生産者等との意見交換を実施し取りまとめた物を検討委員会において協議し計画素案として年内にまとめる予定である。

教育行政について

問 農村部の学校の教員住宅の老朽化が著しいが、今後の整備の考え方は。

答 教育委員会としてこの

間新たな教員住宅の建設は行わず、現在ある教員住宅を維持管理し延命を図ることと併せ民間活力により対応するとの考えを示してきたが、農村部においては学校と地域との橋渡しの役割も大きく、また市街地のように民間アパートの借り入れも困難な状況にあるため、何らかの対応が必要と認識をしている。今後改めて本市の教員住宅のあり方を含め検討したいと考えている。



今年も豊穡の秋を祈りつつ作業が続く（智慧文地区のアスパラ畑）

一般質問



「スキー市技」について

市民連合・凜風会 奥村英俊議員

市技指定について

問 昭和54年の「まごころ国体」開催を機に指定し、合併時にはなくなりましたが、冬季スポーツの拠点化を目指す上でも、再度「スキーを市技」に指定する考えは。

答 合併後は特定のスポーツに関して「市技」を制定しないこととなりましたが、スポーツの種目を問わず「市技指定」の手法については、市民の共通理解と円滑な事業の推進が可能で地域一体となった取り組みを進める上で効果的な手法と考えている。今後のスポーツの推進状況や市民のスポーツに対する関心の高まりなどを見極めて、名寄市として市技指定の必要性について検討していきたい。

鉄道交通網の確保について

問 道北地域の鉄道交通網の堅持のため名寄市長がリーダーシップを発揮してスピード感をもって「利用促進策」



昭和54年の「まごころ国体」歩くスキー大会開催を記念し、58年から毎年開催されている名寄ピヤシリ歩くスキー大会

も示しながら国に働き掛けるべきと思うが考えを伺う。

答 道北地域にとっては、安心・安全な移動手段として鉄道は不可欠な交通網。上川地方総合開発期成会の要望書に鉄道維持に関する追加提案が了承され、宗谷本線活性化推進協議会としても初めて独自に中央要望を行う予定である。
他の質問・市民自治と地域連絡協議会等活動交付金・市立大学の研究と資格・免許取得への対応・無料の学習支援。



必要とする医療・介護を

日本共産党 川村幸栄議員

介護総合事業の準備は

問 2年間の猶予期間があった支援サービスの総合事業への移行がいよいよ来年度からスタートする。サービス内容、ボランティアの組織状況、利用料の考え方について。利用者への周知や人材確保など、また、災害時の施設利用者への対応についても伺う。

答 名寄市の介護予防・日常生活支援総合事業は、第6期事業計画において、団塊の世代が75歳以上になる平成37年を目処に準備を進め、本年1月から生活支援等サービスネットワーク会議を設置し協賛中。移行にあたっては、サービス内容は基本的に変更しない、低所得者に配慮した減免規定も必要と考え、準備・検討を進めている。周知については十分な期間を設けて丁寧な説明に努めたい。災害時の対応では、平成25年上

川北部の12施設で協定を結び、資材と備蓄品の提供、被災施設入所者の受け入れ等相互協力を行う。

大学に期日前投票所を

問 若者の選挙に対する関心も増している。選挙啓発、投票率向上を図るため、名寄大学構内に期日前投票所設置を。

答 選挙啓発や投票率向上の観点から試験的な設置として、7月1日、開設できるように調整を進めている。
他の質問・新名寄市病院事業改革プラン（案）に関わって、南広場に公衆トイレを



急性期、専門医療を担う名寄市立病院の役割等、広報活動の充実強化を強く求めます

議会報告会を開催します

名寄市議会の1年間の活動を報告するとともに、市民の皆さんの議会に対するご意見を伺いたいと思います。お近くの会場にぜひお集まりください。

月 日	時 間	場 所
7月22日(金)	午後1時30分～	名寄市総合福祉センター(多目的ホール)
	午後6時30分～	名寄東小学校(多目的ホール)
	午後7時00分～	智恵文多目的研修センター
7月25日(月)	午後1時30分～	ノースタウンふれあい会館
	午後6時30分～	ふうれん地域交流センター(大会議室)
	午後6時30分～	名寄市民文化センター(大会議室)

昨年の議会報告会の様子



「よろーな」会場



市民文化センター会場

議会日誌 4~6月

- 4/8 北海道市議会議長会道北支部議長会(紋別市)
- 4/13 議会報特別委員会
- 4/13 議会改革研修会(名寄市)
- 4/14 各会派代表者会議
- 4/20 総務文教常任委員会
- 4/21 各会派代表者会議
経済建設常任委員会
- 4/26 北海道市議会議長会定期総会・研修会(釧路市)

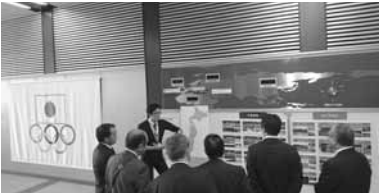
- 4/28 議会改革調査特別委員会
- 5/6 各会派代表者会議
- 5/9 議会運営委員会
- 5/10 市民福祉常任委員会
- 5/11 平成28年第1回臨時会
- 5/11 上川北部市町村議会議長会(中川町)
- 5/11 経済建設常任委員会
- 5/16 議会改革調査特別委員会
- 5/19 赤平市議会行政視察
- 5/19 経済建設常任委員会
- 5/20 総務文教常任委員会
- 5/24 経済建設常任委員会

- 5/25 各会派代表者会議
- 5/25 議会報特別委員会
- 5/27 議会運営委員会
- 5/30 ~ 31 全国市議会議長会
理事会・定期総会
(東京都)
- 6/1 市民福祉常任委員会
- 6/3 平成28年第2回定例会
開会
- 6/3 議員協議会
- 6/15 議会運営委員会
- 6/16 議会改革調査特別委員会
- 6/17 定例会閉会

議会各会派の政務活動報告

市政クラブ・新緑風会

平成27年度は、道外視察を11月に行いました。名寄市が誘致を目指す冬季スポーツのナショナルトレーニングセンターの設置に向け、国立スポーツ科学センターの視察を行い、我が国の国際競技力向上を支援する施設の姿を学びました。愛知県一宮市では、「産官学連携の取り組みについて」、また、北星信用金庫と地域活性で連携する尾西信用金庫との意見交換も行いました。愛知県岩倉市では、「議会改革の取り組みについて」、岐阜県下呂市では、「エゴマの取り組みについて」、静岡県焼津市では、「全職員にタブレット端末導入への取り組みについて」学びました。地域連携づくりなど、自治体の活性化について調査研修を行いました。



「スポーツ情報・医・科学」との連携を図りながら、国際競技力の向上を目指す

市民連合・凜風会

今年度は道外視察として10月に徳島県小松島市で「通年会期制議会」、兵庫県洲本市で「バイオマス産業都市構想」、淡路市で「高齢者福祉」、小野市で「いじめ等防止条例」、赤穂市で「地域住民のための病院、職員にもやさしい病院の取り組み」について調査、研修を行いました。

他に札幌市や旭川市で開催されたセミナーや研修会に参加し、道内市町村の財政状況、「二〇一六年度政府予算と地方財政計画」、「国民健康保険の都道府県化と市町村の対応」、「北海道における子どもの条例・相談・救済機関の取り組み」などについて学びました。

また2月には市内4か所で市政報告・意見交換会を開催し市民の皆様と有意義な議論をしました。



「小野市いじめ等防止条例」には市民みんなでいじめ等防止に取り組むことを明記しています

日本共産党

写真の町で有名な上川郡東川町が全国初となる公立の日本語学校を開校。台湾交流等国际交流を進めている本市において東川町に学ぶことは多いと思ひ、視察を行いました。11月18日、日本語学校開設までの経緯、国際交流や海外の観光客誘致の取り組み、地方創生との関連、住民理解等を、写真文化首都創生課長、交流促進課交流推進室主任らから説明を受けました。1989年海外との姉妹都市交流をはじめ文化交流や産業視察研修などを重ね、2015年交流事業全てに対応する交流促進課がスタート。日本語学校の開設も積み重ねた国際交流の中から誕生し、あらゆる制度（補助制度等）を積極的に活用しながら取り組んでいる姿勢に大いに学びがされました。



東川町初の高校生国際交流写真フェスティバルを案内するパンフレット

名風会

平成27年度は、11月16日、19日の日程で道外視察を市政クラブ・新緑風会と合同で行いました。愛知県一宮市では、修文大学にて産官学の連携について視察を行い、地元に対しての市民との関わりや地域貢献について学びました。岩倉市では、岩倉市議会にて議会改革について視察を行い、市民と共に岩倉市を共有することについて学びました。岐阜県下呂市ではエゴマについて視察を行い、地域振興や活性化について学びました。静岡県焼津市では、全職員にタブレット端末導入について視察を行い、業務スタイルの改革について学び、本市においても課題とされている事項について活性化出来るような調査・研究を行いました。



岐阜県下呂市で商品開発しているエゴマの花

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員 1 人の場合も含む）に対して交付されます。【交付額は議員 1 人当り、月額 10,000 円です。】

平成 27 年度各会派の政務活動費概要報告

単位：円

	市政クラブ・新緑風会	市民連合・凜風会	公 明	日 本 共 産 党	名 風 会	合 計
政務活動費交付額	860,000	770,000	110,000	110,000	110,000	1,960,000
返還（未執行）	0	0	110,000	75,355	0	185,355
H 27 年度交付額	860,000	770,000	0	34,645	110,000	1,774,645
支 出						
調 査 研 究 費	912,851	618,221	0	2,466	110,296	1,643,834
研 修 費	0	131,213	0	0	0	131,213
広 報 費	0	0	0	3,160	0	3,160
広 聴 費	0	19,452	0	0	0	19,452
要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0
資 料 作 成 費	0	2,788	0	3,293	0	6,081
資 料 購 入 費	12,312	0	0	25,726	0	38,038
人 件 費	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0
計	925,163	771,674	0	34,645	110,296	1,841,778

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

議員協議会（6月3日）

本会議終了後に開催された議員協議会では第2次総合計画の進捗状況、名寄振興公社、名寄市社会福祉事業団の経営状況、新名寄市病院事業改革プラン（案）について説明を受けました。

第2次総合計画の進捗状況では、策定審議会の主な審議と進捗状況等についての報告があり、今後は総合戦略との整合性、市民にとつての分かりやすさにつながる重点プロジェクトについて検討する旨の説明がありました。

名寄振興公社の経営状況では各施設の利用状況、決算についてはスキー場のオープンが降雪不足により大幅に遅れ、合宿等がキャンセルになるなど苦戦が強いられ、当期の損益は926万7,670円の当期純損失を計上すると説明を受け、議員からはスキー場・温浴施設等の集客努力、経営改善等についての意見が出されました。



清峰園



しらかばハイツ

介護職員の人材不足が課題

状況では、決算報告、事業計画の基本方針等の説明を受け、議員からは介護職員の人材確保等について質問があり、職員採用については例年より早い時期から募集を始め、旭川市、札幌市などの専門学校、大学などにも採用情報を発信し職員確保に向け努力する旨の回答がありました。

新名寄市病院事業改革プラン（案）では改革プラン策定の趣旨、目標、期間、今後のスケジュール等についての説明を受けました。

議会報特別委員会視察報告

仁木町・北広島市・赤平市

4月25、26日、道内行政視察を行った。

初日の仁木町議会では、表紙写真について、「ぶち通信」発行の経緯と効果などについて視察研修。

議会だよりの表紙写真は、町民登場の工夫やカラー化で多くの人に読んでもらえる広報紙づくりをしている。余白を活かしたレイアウト、見出しの付け方などについては若い方たちにも読んでもらえるように雑誌等も参考にしている。また、広報ミニ版「ぶち通信」を定例議会開催の周知を主として発行。議会傍聴人が増えるなどの効果があった。財政的な裏付けが必要だが、タイムリーな情報提供として非常に参考となった。

次に北広島市議会を訪問。「北広島市議会広報発行に関する条例」を制定していることから、制定の経緯等について視察研修を行う。議会広報編集委員会を正式

な委員会にするために、昭和58年12月制定。編集にあたっては、議会だより「なよろ」と類似しているが、決算特別委員会や総括質疑は要点を記載。一般質問の見出しを工夫するなど参考にする点が多かった。

最後に赤平市議会を訪問し、手づくりの議会広報紙「かわら版」の編集と発行について視察研修を行う。

厳しい財政状況や発行が2か月遅れであまり読まれていないこと、議員自ら手掛けないことなどの理由により平成15年から19年2月まで議会だよりの発行を休止していたが、議会からの発信がなくていいの、市民に寄り添った情報提供を、などの議論を経て、より身近に感じる広報紙「かわら版」づくりに取り組んでいるとの報告があった。発行予算は行政研究議員会から

支出し、編集委員である議員が編集作業を行う。印刷は編集委員を含め参加可能な議員によって事務局で作業するという、まさに手づくりの広報紙である。

今回の行政視察の各委員の感想は、「議会だよりは、単なる伝達の手段だけでなく、市民との対話を引き出す情報伝達誌であることを認識」アンケート調査や議会報告会の中で意見をもらうなどして、市民（読み手）の立場に立った工夫・対応が必要。先進地視察や各種研修会、参考図書などで研鑽したい。などであり、今後の議会だより「なよろ」に反映させていきたい。



北広島市議会議場にて議会広報の編集と発行について説明を受ける



赤平市議会議場にで「かわら版」編集委員のみなさんと

住民の声で議会の活性化を!!
議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。
◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
◇問い合わせは議会事務局 ☎ 01654-3-2111へお申し出ください。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

4月20日は名寄大学にて委員会を開催し、新棟及び既存施設改修計画について説明を受けた後に、佐古、寺山両学長から大学の将来像についての考えを伺い、その後学生部長、教務部長、図書館長、コミュニケーションケア教育研究センター長、事務局を交えて質疑及び意見交換を行った。今後、大学との情報共有を積極的に行うこととしました。

5月20日は所管する総務部、教育委員会、名寄市立大学からそれぞれ所管事項についての説明を受けた。企画課からは第2次総合計画等各計画の進捗状況について、教育委員会からは名寄東小学校の改築事業が国の採択を得られず、今後の対応を検討するとの説明があった。



名寄市の大きな財産である名寄大学のさらなる発展を目指して

市民福祉常任委員会

5月10日に委員会を開催し、市立病院からは、今年度の業務体制は診療科の医師数は56名（3名増）研修医は13名（3名増）他にも医療技術者等職員の充実も含め、職員、臨時職員計742名体制となること、院内保育所改築工事等が着工され11月竣工予定であること、新名寄市病院事業改革プラン案の内容等について説明を受けました。

1日の委員会では、認定子ども園施設整備の説明を受けると共に、今後の委員会活性化の取り組みについて協議を行いました。



次年度「認定こども園」としてスタートする名寄幼稚園

経済建設常任委員会

委員会を4月21日・5月11日・5月19日に開催し、第1回定例会で付託された「名寄市中小企業振興条例の一部改正について」慎重に審査し、審議会議論の情報公開とサポートネットワークの取り組みに対し委員会としての要望を伝え全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。5月24日の委員会では平成28年度における経済部所管の農林業施策で名寄市農業・農村振興計画の策定状況、

商工観光施策、交流事業で移住促進事業、姉妹都市提携20周年、温浴施設等の整備検討報告、建設水道部所管の約43億3千万円に係わる主要建設事業の概要、平成27年度の除排雪の状況など主要施策について説明を受けました。



課題の多い温浴施設整備

議会運営委員会

平成28年第2回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、5月27日と6月15日に委員会を開催しました。会期を6月3日から17日の15日間とすること、14名の議員が一般質問を行うことを確認しました。

上程議案11件、報告5件、諮問1件を初日に審議すること、追加議案は工事請負契約等3件、意見書8件の予定で最終日に審議することを確認しました。また、平成28年第1回定例会付託議案第35号名寄市中小企業振興条例の一部改正についての委員長報告を、定例会初日に行うことを確認しました。その他では6月3日の本会議終了後に議員協議会を第2次総合計画の進捗状況、名寄振興公社、名寄市社会福祉事業団の経営状況について等を案件とし開催すること、議会報告会を、7月22日と25日の2日間市内6力所で開催することを確認しました。

☆ き ぽ う ☆



子育てサークルの楽しみ
 名寄市大通北1丁目 多門 理恵

子育て真っ最中の母親にとつての「きぼう」といえば、

我が子の健やかな成長にほかなりません。けれど自分自身の好きなこと、やりたいことに「きぼう」を見出すことだってきっとできるはず！子ども中心の生活の中でも、母親たちが「自分らしさ」を出せる場所、知的好奇心を満たせる場所、そして親も子ども安心して過ごせる場所、そんな居心地のよい場所を目指して、子育てクラブ「たららん」は進化を続けます。

活動を支えるのは様々な知識、技能を持った名寄の人々。アスパラ農家さん、茶道の先生、歯医者さん、助産師さん、美容師さんなど、母親たちに学びの場を提供してくれるサポーターの皆さんから、子どもとの生活を楽しむ知恵を学び、生き生きと前向きに子育てに励む母親たちから育った子どもたちの未来は、きっとひまわりのように明るく輝くものであると信じています。



出会いとつながり
 名寄市風連町字豊里899番地 安達 康治

私はこの風連町で農家の息子として生まれ育ち、今は両親と共に農業に取り組んでいます。そして縁あって昨年結婚し、今年6月3日には長女が誕生しました。家族がどんどん増え、仕事を終えて家に帰ると賑やかな我が家...平凡で幸せな毎日を送れる環境に感謝しています。

そんな中、今期地域農業として“アグリエイトクラブ運営委員長”を務めることになりました。アグリエイトクラブとは若い農業後継者の集まりで、地域イベントや直売などに取り組んでいます。農業戸数が減っている今、地域を盛り上げる農業者になるために仲間たちと協力していきたいと思っています。そして、農業を通して生産者・消費者・流通に関わる人たちとの「つながり」をより一層大切にしていきたいです。

そんな中、今期地域農業として“アグリエイトクラブ運営委員長”を務めることになりました。アグリエイトクラブとは若い農業後継者の集まりで、地域イベントや直売などに取り組んでいます。農業戸数が減っている今、地域を盛り上げる農業者になるために仲間たちと協力していきたいと思っています。そして、農業を通して生産者・消費者・流通に関わる人たちとの「つながり」をより一層大切にしていきたいです。

表紙の写真紹介

今回の写真は、6月4日に開催された風連下多寄小学校運動会の写真です。残念ながら雨のため、体育館での開催となりましたが、子どもたちの頑張る姿に保護者、地域の皆さんも応援に熱が入りました。学校と地域の絆がより一層深まった運動会でした。



今年で23回目を迎えたチャレンジデー綱引き大会は、昨年より29チーム多い140チームが参加し、大いに盛り上がりました。議員チームは、大学生のパワーに惜しくも1回戦敗退しましたが、良い汗を流しました。

議会スナツプ
 チャレンジデー
 (5月25日)

新緑が田畑を彩り、街中を歩いていると各家庭の庭先にはツツジやサクラ草が咲き、新しい息吹に心の豊かさを感じとれる季節となりました。さて、第2回定例会において第2次総合計画策定に向けた策定審議会での経過説明を受けました。8月にはパブリック・コメントが開始される予定です。本市のこれからの10年を展望する重要な計画でありますので、多くの市民のみなさまのご意見をお待ちしております。議会報特別委員会では4月末に、議会報の編集と発行について、道内の先進地であり、赤平市での行政視察を行いました。視察先で感じたことは、議会だよりを市民のみならず手に取って読んでいただくためには、「見出しの工夫や写真の大きさ・枚数、そしてページの空間を多くする等の工夫」がされていることでした。今後はより親しみやすく、読みやすい紙面作りを努めていきます。

編集後記